

「素直」

～目指す学校像～

H 2 9 . 5 . 2 2

1 学校では

学校では、生徒達と教職員がともに広い視野を持ち、今自分が成すべきことが何なのかを確実に把握し、実行していくことで、充実した日々を送ることができます。そのためには、みんなが「素直な心」を備えた集団でいかなければいけないと考えます。そこでは、『速やか』『和やか』『穏やか』という様子から、「厳格」「寛容」「謙虚」な心がみえることがポイントとなります。

2 す・な・お

(1) 素直の『す』…『速やか』

人は時として失敗をしてしまいます。そのような不意な出来事に対して臨機応変・自由自在に『速やかな行動』ができなくてははいけません。そこでは「厳格な心」、つまり考えや動きが何のものにもとられることなく確実であるさまが見えなくてははいけないと思われれます。特に私欲にとられないことが大切です。他の人のことも十分配慮して行動できる姿がみれるれば、『素直な心』が備わってきたこととなります。

(2) 素直の『な』…『和やか』

人は一人で生きていくのでなく、共同生活というものを営んでいます。その共同生活は、『和やかな仲間』でなくてははいけません。そこでは「寛容な心」、つまりよく人をゆるしいれるさまが見えなくてははいけないと思われれます。特にお互いにどんな事に対しても衆知に耳を傾けることが大切です。いつどんな場合でも、お互いの存在を認め合い、話し合える姿がみえれば、『素直な心』が備わってきたこととなります。

(3) 素直の『お』…『穏やか』

人は争い、お互いに傷つけ合うこともあります。そのような場面であっても『穏やかな心情』を保たなくてははいけません。そこでは「謙虚な心」、つまりたかぶることがなく平常心が保てるさまが見えなくてははいけないと思われれます。特に物事を冷静に見、考えていくことが大切です。人間本来が持っている慈悲の心が働き、みんながともに幸せに生きていく姿がみえれば、『素直な心』が備わってきたこととなります。

3 学ぶ心

何事も経験であり、勉強です。この世の中に一切の人、物、あらゆる物事すべてが、自分にとって貴重な教えとなっていくます。そのような学ぶ心で接し、常に何らかの教えを得ようとする態度は、『素直な心』あれば身についてくるものです。

物事の実相を見て、価値あるものはその価値を正しくを認めていけば、自然と学ぼうという意欲が湧いてきます。皆がその『素直な心』を備え、その意欲が学校全体に溢れるような環境づくりを心掛けていきたいものです。

